

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 18 年 8 月 4 日

会社名 グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザーズ株式会社（JASDAQ・コード番号：8783）

（URL <http://www.groundfa.com/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役 佐藤 明彦 TEL：(03) 5532 — 1031  
 責任者役職・氏名 取締役 松浦 一博

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	61	—	△5	—	△5	—	△3	—
18 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18 年 3 月期	527		301		281		169	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	△211 97	— —
18 年 3 月期第 1 四半期	— —	— —
(参考)18 年 3 月期	12,767 50	11,907 46

(注)1. 営業収益、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 18 年 3 月期第 1 四半期につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景とした活発な設備投資や雇用環境の改善等から個人消費は緩やかに回復を続け、国内景気は総じて堅調に推移しました。

当社の主たる事業領域である不動産流動化・証券化市場においては、不動産投資ファンドをはじめとして物件の取得に対する需要は依然として旺盛であり、首都圏を中心に流動化・証券化手法を利用した新たなオフィスビルや商業施設の開発も行われるなど、市場は引き続き活況を呈しております。

このような状況下、当社は首都圏におけるオフィスビルや賃貸マンションの新規取得案件及び不動産投資ファンドに係るリファイナンス等のアレンジに取り組みましたが、一部案件のクロージングが第 2 四半期以降にシフトしたこと及び支払手数料等経費の負担等により営業費用が営業収益を上回り、当第 1 四半期における業績は、営業収益 61,890 千円、経常損失 5,550 千円、四半期純損失 3,328 千円となりました。

なお、営業収益における業務別収益の内訳を示すと次のとおりであります。

(千円未満切捨)

営業収益の内訳	19年3月期第1四半期	(参考)18年3月期
ストラクチャリング業務収益(千円)	53,089	474,335
アドバイザー業務収益(千円)	8,801	38,219
その他営業収益(千円)	—	15,124
合計(千円)	61,890	527,678

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	1,071	1,033	96.5	65,843 48
18年3月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考)18年3月期	1,185	1,084	91.5	69,055 45

(注) 18年3月期第1四半期につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は1,071,681千円となり、前事業年度末に比べ113,621千円減少しました。これは主に、営業未収金が6,799千円増加した一方、法人税等の支払及び配当金の支払等に伴い現金及び預金が125,422千円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ63,193千円減少し、37,939千円となりました。これは主に、未払金が10,537千円増加した一方、未払法人税等が78,516千円減少したことによるものであります。

株主資本は、前事業年度末に比べ50,428千円減少し、1,033,742千円となりました。これは、利益剰余金が50,428千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△86	—	△38	1,013
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	227	9	507	1,138

(注) 18年3月期第1四半期につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

[キャッシュフローの状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、法人税等の支払による支出が76,595千円となったこと及び配当金の支払による支出が38,252千円となったこと等により、前事業年度末に比べ125,422千円減少し、1,013,388千円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュフローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果使用した資金は86,670千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が△5,550千円となったこと、営業債権の増加に伴う減少が6,799千円あったこと、及び法人税等の支払による支出が76,595千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果使用した資金は500千円となりました。これは有形固定資産の取得に伴うものであります。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果使用した資金は38,252千円となりました。これは配当金の支払に伴うものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	250	100	59	—	—	—
通 期	650	340	200	—	3,000 00	3,000 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）12,738円85銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年5月23日発表の業績予想に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	1,013,388	—	—	—	1,138,811
2. 営業未収金	10,207	—	—	—	3,407
3. その他	13,086	—	—	—	8,167
流動資産合計	1,036,683	—	—	—	1,150,386
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産	1,979	—	—	—	1,614
2. 無形固定資産	396	—	—	—	415
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	5,000	—	—	—	5,000
(2) その他	28,122	—	—	—	28,387
貸倒引当金	△500	—	—	—	△500
投資その他の資産合計	32,622	—	—	—	32,887
固定資産合計	34,998	—	—	—	34,917
資産合計	1,071,681	—	—	—	1,185,303

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 営業未払金	1,680	—	—	—	1,041
2. 未払金	19,410	—	—	—	8,872
3. 未払法人税等	468	—	—	—	78,985
4. 賞与引当金	3,332	—	—	—	—
5. その他	13,047	—	—	—	12,234
流動負債合計	37,939	—	—	—	101,133
負債合計	37,939	—	—	—	101,133
<b>(資本の部)</b>					
<b>I 資本金</b>	311,500	—	—	—	311,500
<b>II 資本剰余金</b>					
1. 資本準備金	346,300	—	—	—	346,300
資本剰余金合計	346,300	—	—	—	346,300
<b>III 利益剰余金</b>					
1. 第 1 四半期 (当期) 未処分利益	375,942	—	—	—	426,370
利益剰余金合計	375,942	—	—	—	426,370
資本合計	1,033,742	—	—	—	1,084,170
負債・資本合計	1,071,681	—	—	—	1,185,303

2. (要約) 四半期損益計算書

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月 期第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>I 営業収益</b>	61,890	—	—	—	527,678
<b>II 営業費用</b>					
1. 匿名組合出資損失	—	—	—	—	512
2. 販売費及び一般管理費	67,692	—	—	—	225,556
営業費用合計	67,692	—	—	—	226,069
営業利益	△5,802	—	—	—	301,609
<b>III 営業外収益</b>	251	—	—	—	277
<b>IV 営業外費用</b>	—	—	—	—	20,647
経常利益	△5,550	—	—	—	281,239
<b>V 特別利益</b>	—	—	—	—	2,500
税引前四半期 (当期) 純利益	△5,550	—	—	—	283,739
法人税、住民税及び事 業税	72	—	—	—	118,238
法人税等調整額	△2,295	—	—	—	△4,207
四半期 (当期) 純利益	△3,328	—	—	—	169,708

### 3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	△5,550	—	283,739
減価償却費	153	—	381
債権譲渡益	—	—	△2,500
貸倒引当金の減少額	—	—	△143
賞与引当金の増加額	3,332	—	—
受取利息及び受取配当金	△251	—	△133
新株発行費	—	—	20,647
営業債権の増減額(△は増加額)	△6,799	—	2,464
営業債務の増減額(△は減少額)	638	—	△6,296
未払金の増減額(△は減少額)	1,690	—	1,368
未払消費税等の増減額 (△は減少額)	△1,714	—	△20,145
匿名組合出資金の増減額 (△は増加額)	—	—	24,215
その他	△1,824	—	△1,397
小計	△10,326	—	302,201
利息及び配当金の受取額	251	—	133
法人税等の支払額	△76,595	—	△74,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,670	—	227,963
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△500	—	△874
無形固定資産の取得による支出	—	—	△370
拠出金の回収による収入	—	—	3,143
貸付金の回収による収入	—	—	7,500
差入保証金の返還による収入	—	—	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500	—	9,704
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
配当金の支払額	△38,252	—	—
株式の発行による収入	—	—	507,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,252	—	507,152
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)</b>	△125,422	—	744,820
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,138,811	—	393,991
<b>VII 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高</b>	1,013,388	—	1,138,811